

iPadミニ研修(全10回)

～GIGAスクール構想に向けて～
第1回

カメラの使い方、簡単授業活用、テレビに拡大提示

京都市立呉竹総合支援学校

京都市教育委員会 総合育成支援課

専門主事 高松 崇

本日の資料



10回シリーズ ミニ研修

1回目	2回目	主な内容
5/11	5/25	カメラの使い方、簡単授業活用、テレビに拡大提示
6/8	6/22	様々な動画の撮影、タイムラプス、スロー
7/6	7/13	入力の方法、音声入力、Siri、キーボードの追加
9/7	9/28	画像の編集、簡単授業活用
10/12	10/26	動画の編集、簡単授業活用
11/2	11/29	授業で使えるアプリ体験1 授業進行
12/7	12/14	授業で使えるアプリ体験2 教材作成
1/11	1/25	授業で使えるアプリ体験3 読み書きの代替
2/1	2/15	授業で使えるアプリ体験4 プログラミング
3/1	3/15	コントロールセンターの活用、アクセシビリティ解説

各回16:10~17:10

1回目は高松、2回目は支援部が講師（予定）

校内での活用を広める工夫

情報主任（普及担当等） には年配の女性の先生を・・・

アナログでの授業が上手い
ICTを使いたいが苦手
校内で発言力がある
コミュニケーション力がある



最も理想的な先生です



校内の意識を変革します

ICTが得意（オタク系）の
男性若手教員は後方支援に徹する

全体研修は逆効果

(全員を狙うと相対的に満足度が低くなる)

触ったことのある教員
普段から使用している教員



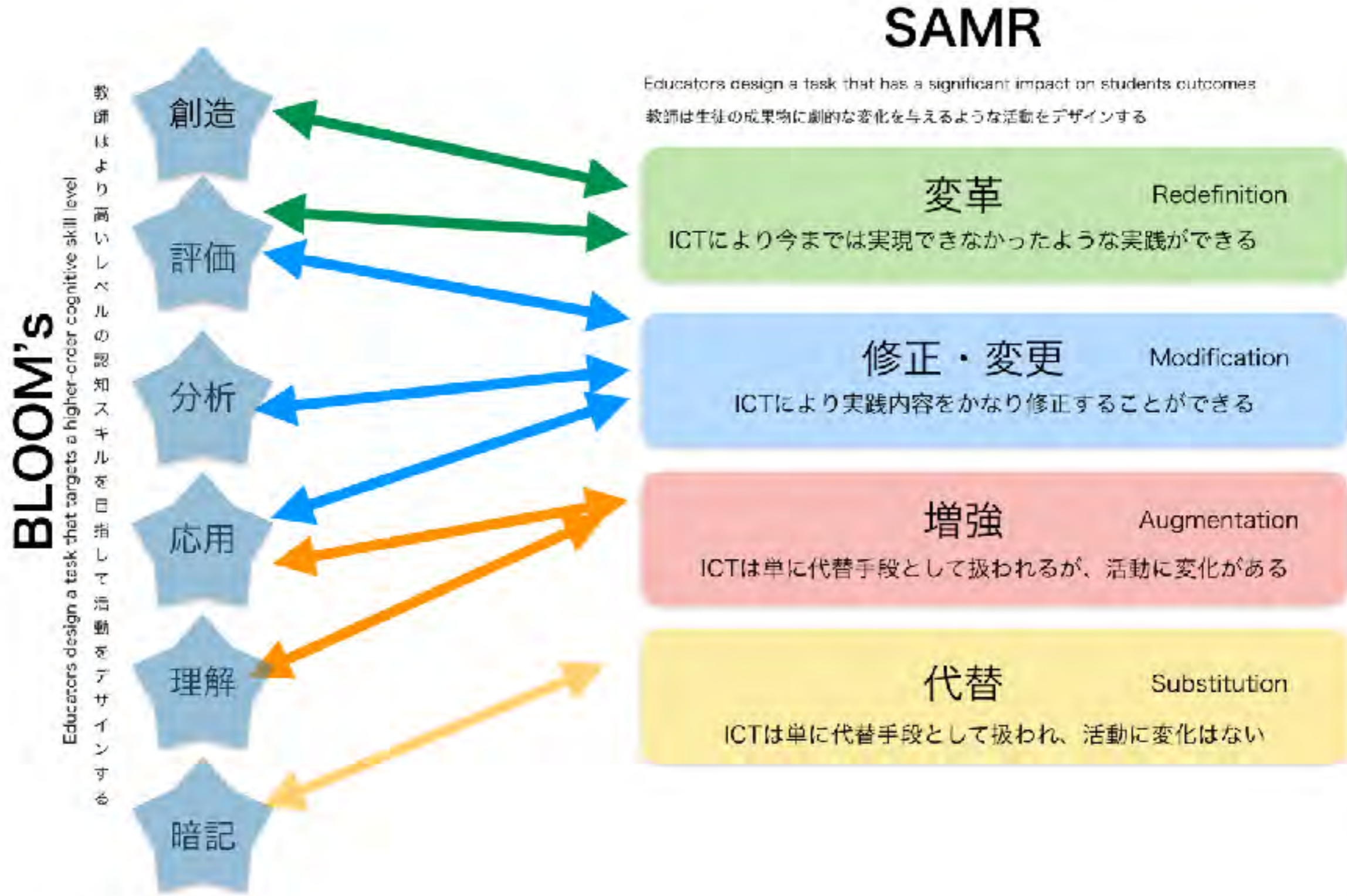
内容が基本過ぎて満足度が低い

普段使用していない教員



内容が難しすぎて満足度が低い

校内研修



校内研修①

代替

これまでも教室にあったデジタル機器
デジカメ・ビデオカメラ・CDデッキ・・・

の代わりに

iPadでオールイン1を体験させる



カメラ

動画

Youtube

...

1台で何役もできる便利さに気づく

校内研修②

増強

折角なので、ちょっと便利に
使ってみる



写真（マークアップ）

動画（マークアップ トリミング）

音声入力・Siri

音声読み上げ

拡大表示

メモ（手書き機能）

...

これまでのデジタル機器よりも便利

思っていたより簡単

普段のスマホ利用（個人使用）にも活用できる

校内研修③

修正・変更

この段階で初めて便利はアプリを紹介する

AR系のアプリ (Quiverなど)

電子絵本作成 (Scannableなど)

創作性アプリ (StopMotionなど)

アクセシビリティの理解



iPad本来の特性を理解する

...

ここまで来れば各自から質問がきます。

こんな事をしたい！

校内研修④

変革

ここまでくれば

これまでの授業では実践できなかった

新しい授業が実践できる



子どもたちも学びが深まる

先生方にも実践力が深まる

...

主体的・対話的で深い学びの実践

ICTが得意（オタク系） の先生の役割

夏休みなどを利用して
一日30分程度1テーマでミニ研修を
5テーマ3サイクルぐらいで
希望者に実施



初級者の基礎スキルを
持ち上げます

学びの敷居を下げます
口コミで中間層を広げます

校内ICTの浸透度

導入前 : 何が出来るのかわからない

導入後 : とりあえず使ってみる

～半年 : 何となく便利なことに気づく

半年～1年 : 色々なアプリを使いたくなる



1年～2年 : アプリありきではない事に気づく

3年～ : 当たり前な機器になっていく

①

カメラの使い方、簡単授業活用、テレビに拡大提示



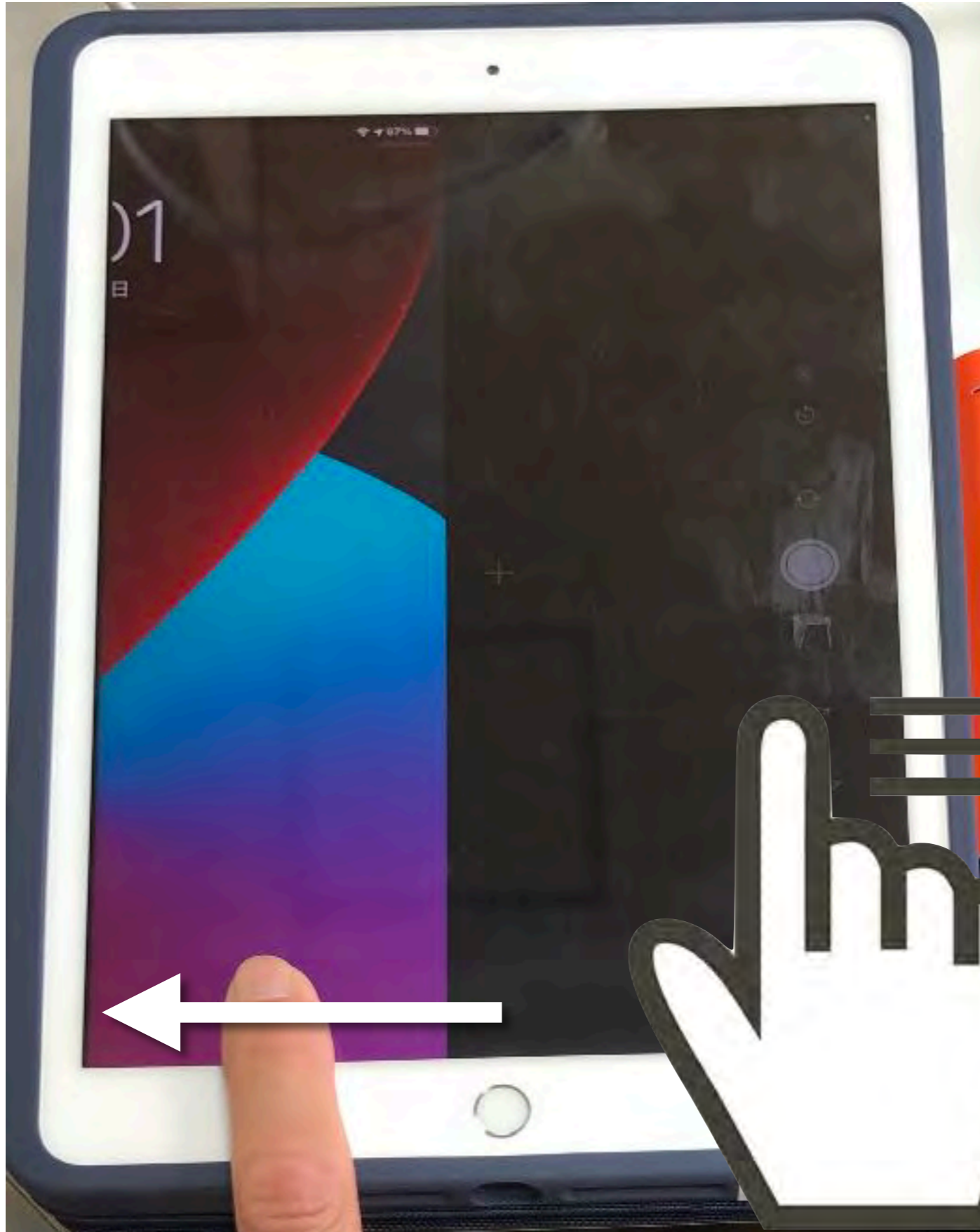
カメラの使い方

QRコードの読み込み

今日の資料で練習しましょう！

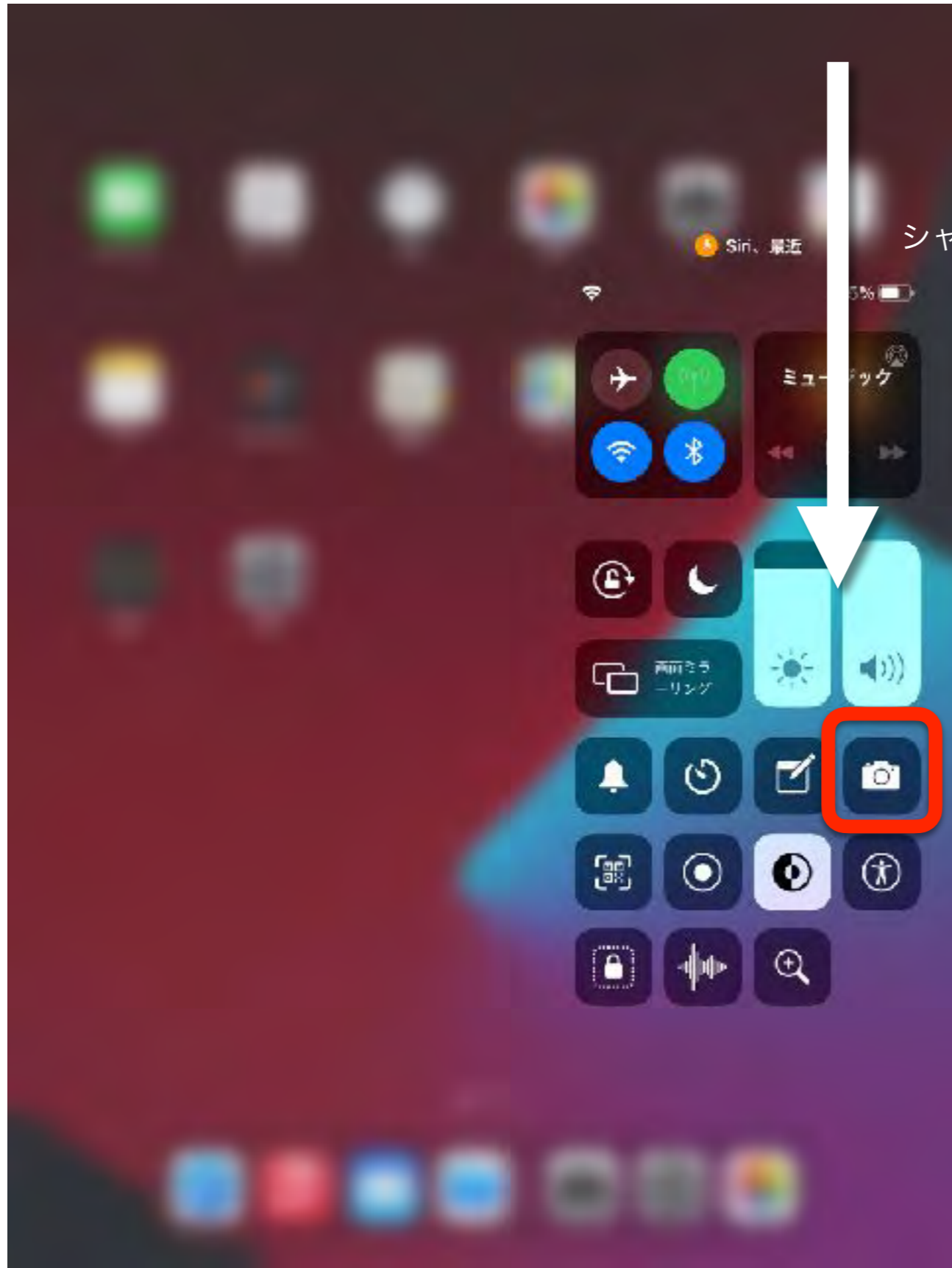


基本操作（カメラアプリの起動）



① ロック画面
から左へシュ！

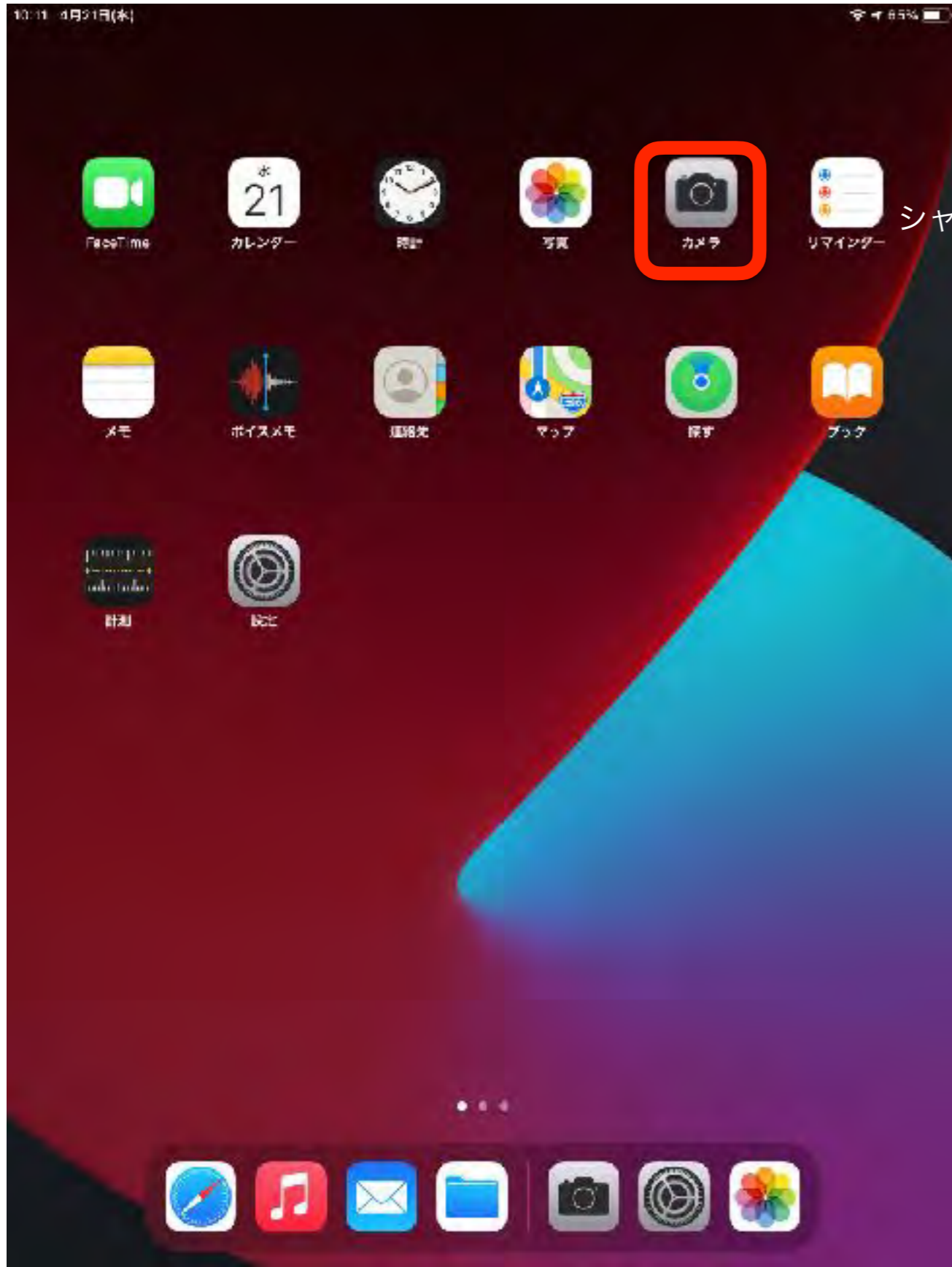
基本操作（カメラアプリの起動）



② 画面右上から下に向かってシュ!

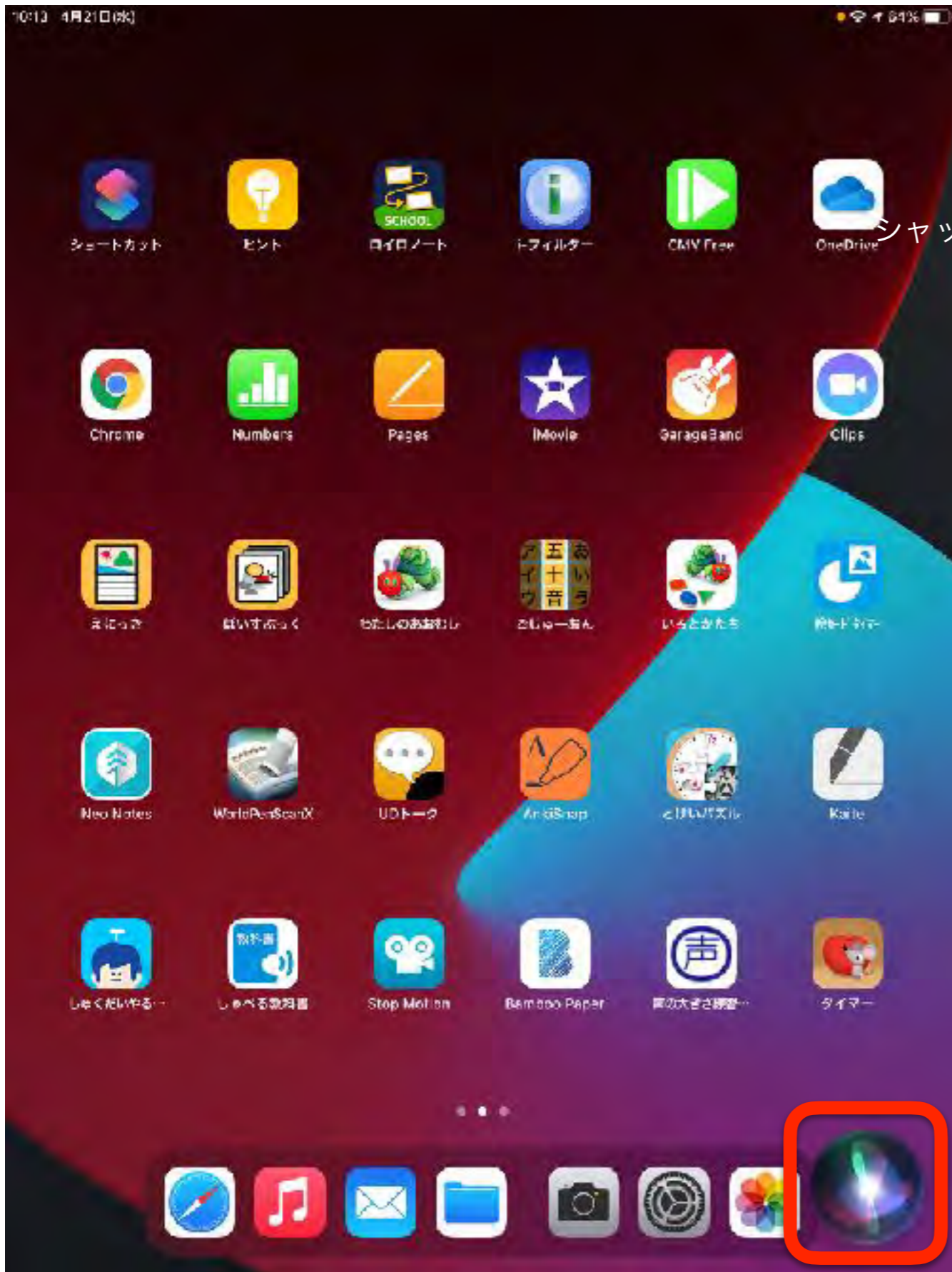
(コントロールセンター)

基本操作（カメラアプリの起動）



③ カメラアイコンをタップ！

基本操作（カメラアプリの起動）



- ④ ホームボタン長押しでSiriを起動し、
「カメラを起動！」

基本操作（撮影）

シャッターを切った前後の 1.5 秒ずつの映像を記録します。



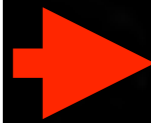
タイマー 3, 10 秒が選択できます。



前後のカメラを切り替えます。



長押しすると連射されますので
注意してください。

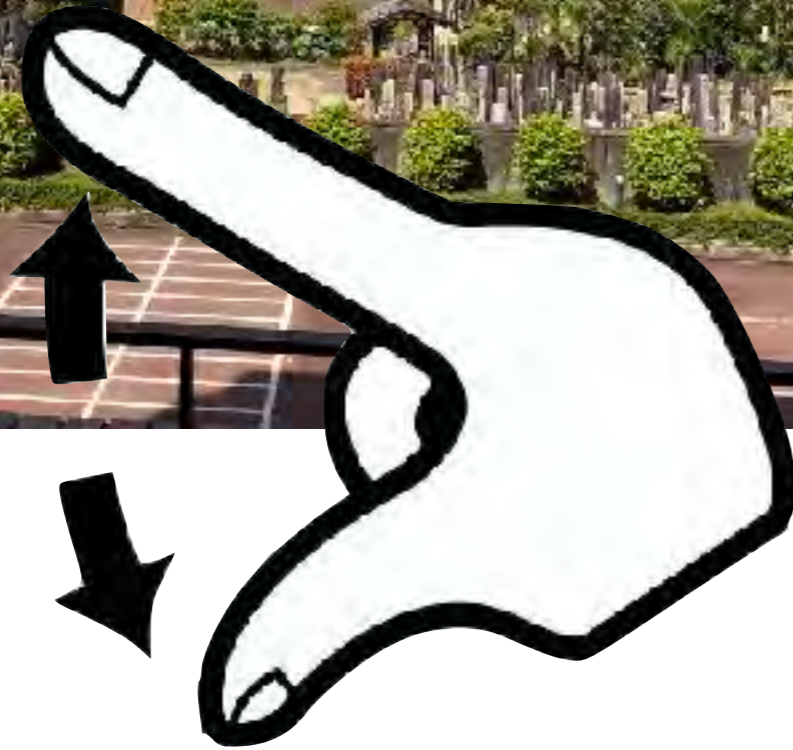


写真を取るとき⇒ **写真**

ビデオ

スクエア

基本操作 (ズーム)



ピンチアウト (びよ～ん)

ピンチイン (きゅ！)



基本操作 (ピント & 露出調整)

黄色い枠が表示されている時に
画面を上下になぞる事で
露出を調整できます。
屋外での撮影時には必須です。



シャッターを切った前後の 1.5 秒ずつの映像を記録します。

タイマー 3, 10 秒が選択できます。

前後のカメラを切り替えます。

ピントと露出を合わせたい場所を
軽くタップします。



写真を取るとき⇒

スクエア



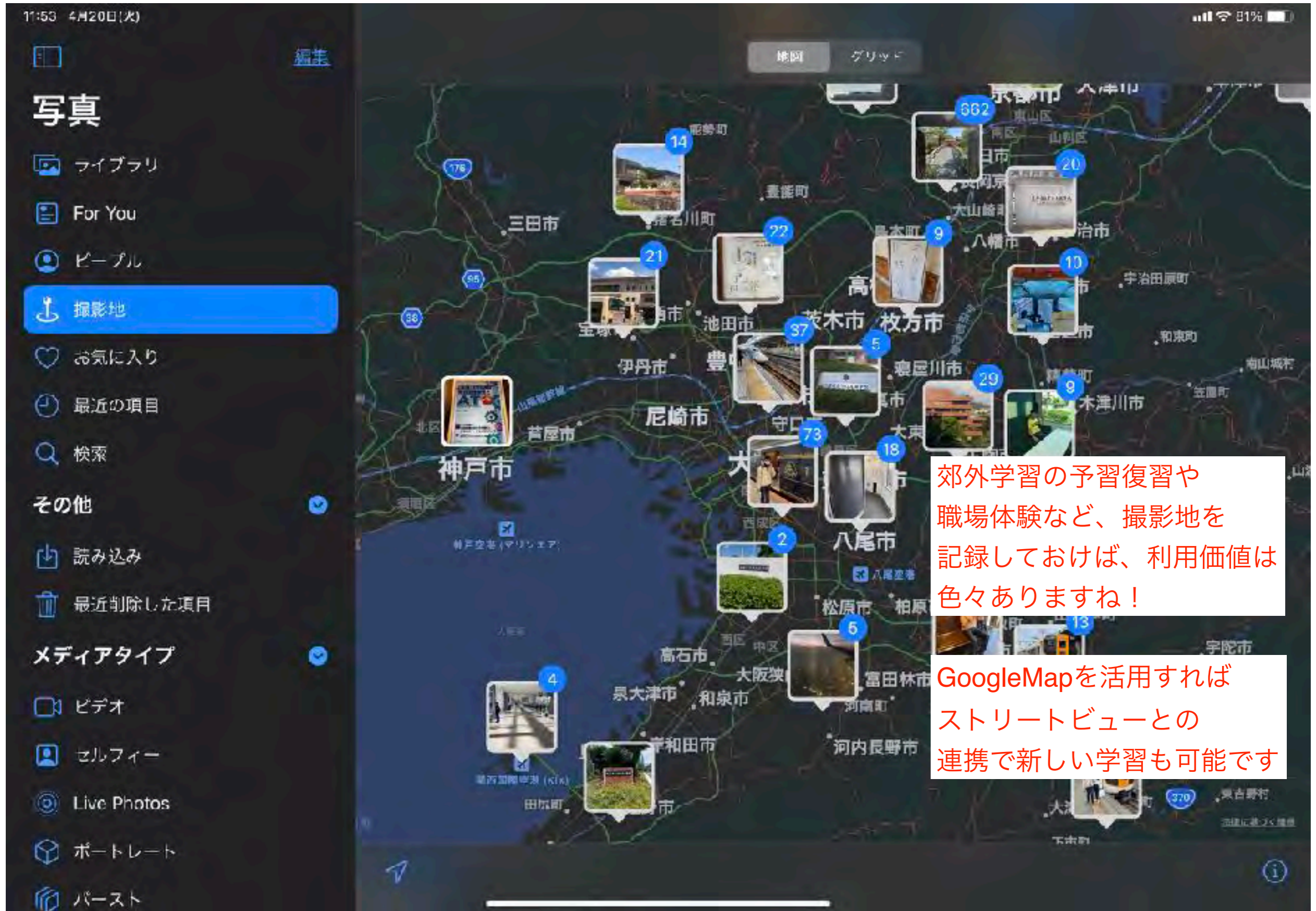
基本操作 (パノラマ)



どんなものを撮れば効果的かな？



位置情報をOn



郊外学習の予習復習や
職場体験など、撮影地を
記録しておけば、利用価値は
色々ありますね！

GoogleMapを活用すれば
ストリートビューとの
連携で新しい学習も可能です

(情報担当者向け)



(情報担当者向け)

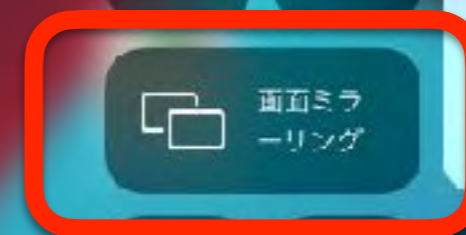


テレビに拡大提示



ミラーリング

教室のテレビを選択
4桁のパスワードを聞かれますので入力



注、テレビ側の設定が完了していないと
利用できません。

画像を共有

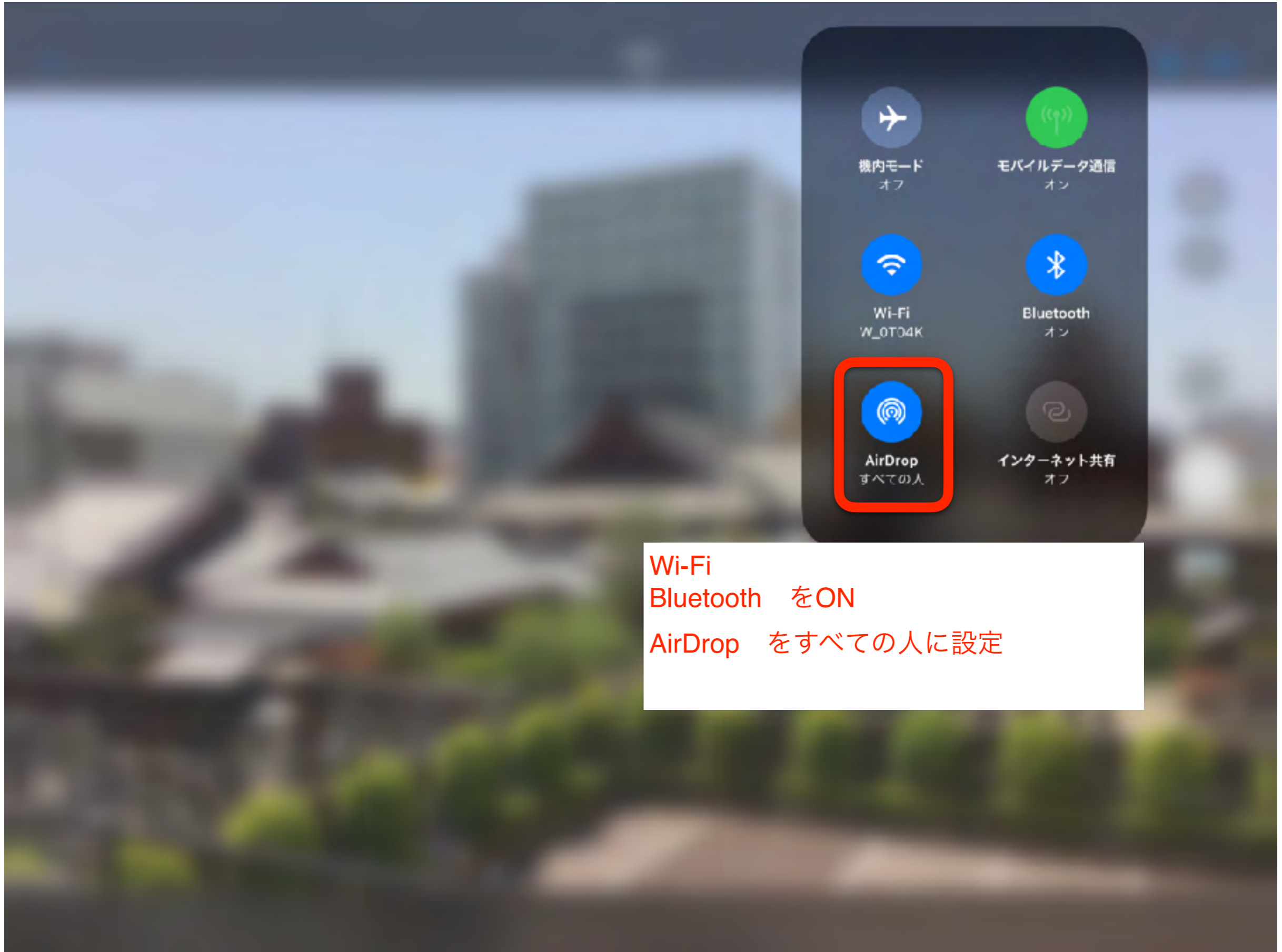


①AirDrop(共有)の準備

- ①画面右上より下方向にびゅ～
- ②赤い枠の部分を長押し



②AirDrop(共有)の準備



Wi-Fi
Bluetooth をON
AirDrop をすべての人に設定

③ AirDrop(共有)



STEAM教育

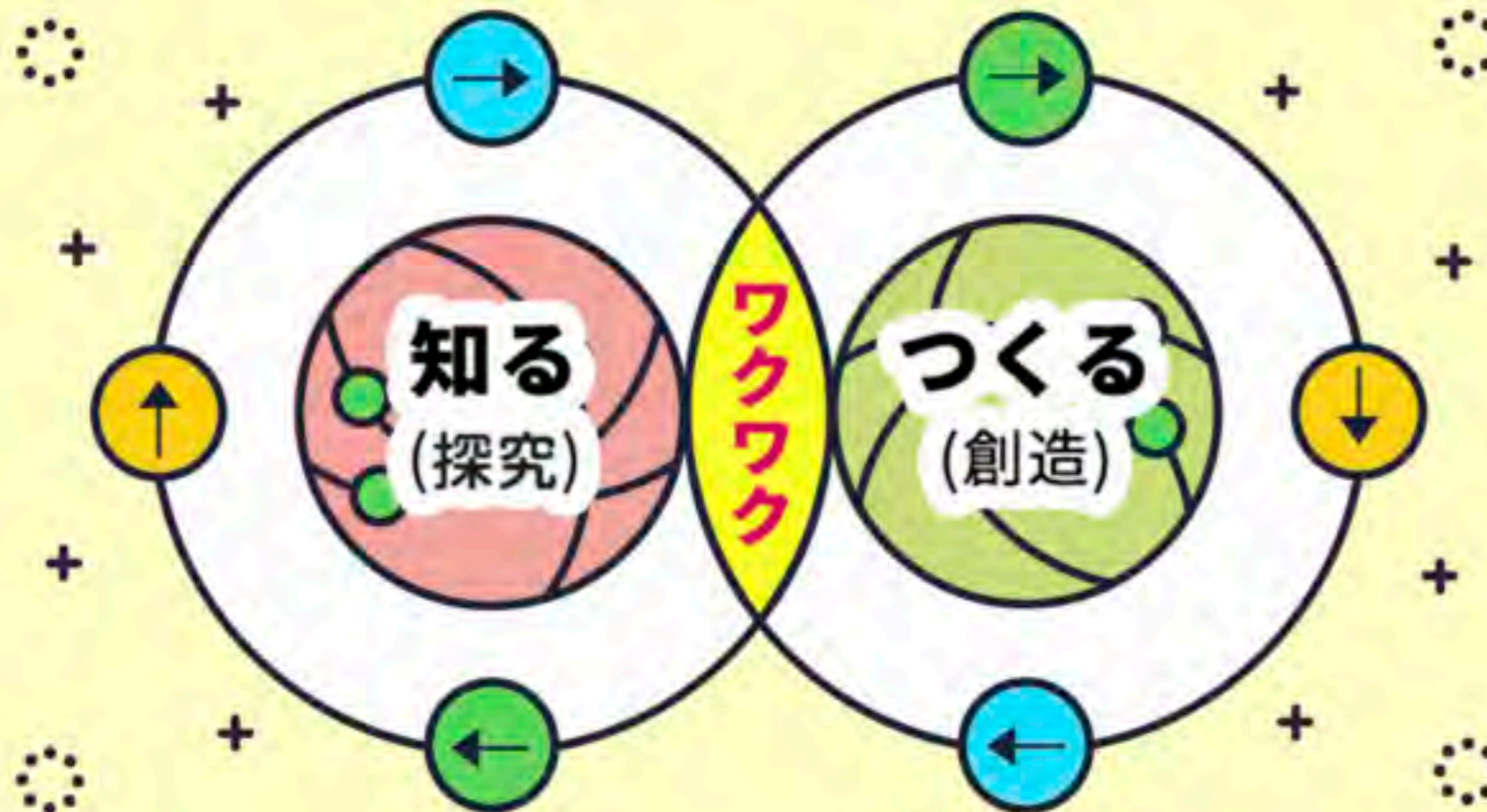
STEAM・・・それはひとりひとりのワクワクをよびおこす

S	SCIENCE 科学
T	TECHNOLOGY 技術
E	ENGINEERING 工学
A	ART 芸術
M	MATHEMATICS 数学

科学・技術・工学・芸術・数学の5つの英単語の頭文字を組み合わせた造語。

科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）、アート（Art）、数学（Mathematics）の5つの領域を対象とした理数教育に創造性教育を加えた教育理念。知る（探究）とつくる（創造）のサイクルを生み出す、分野横断的な学びです。

STEAM教育とは？

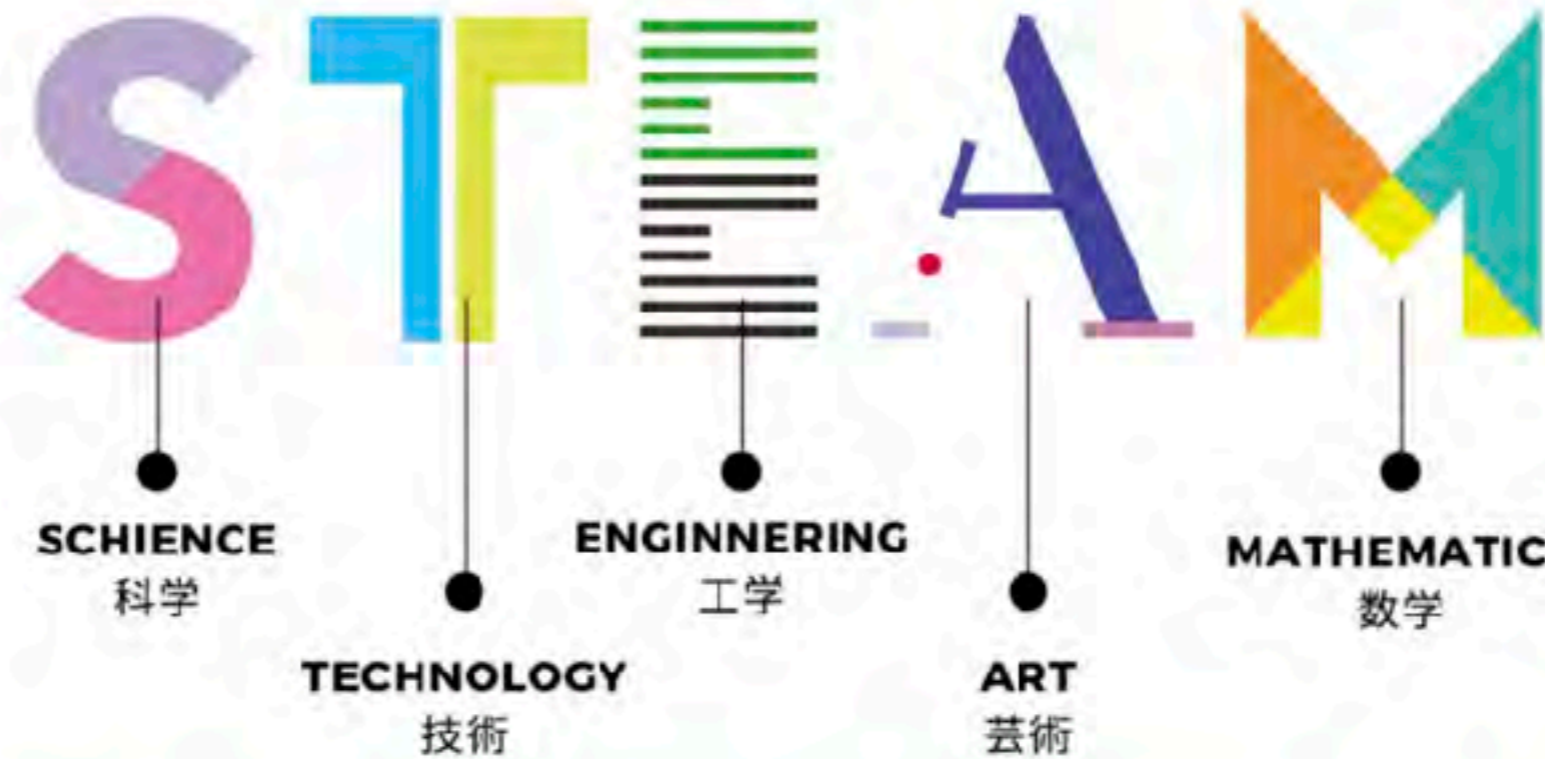


知るとつくるのサイクルを生み出す、

分野横断的な学び

体験の中でさまざまな課題を見つけ、クリエイティブな発想で問題解決を創造、実現していくための手段を身につけます。

社会とテクノロジーの関係がますます密接になっていくこれからのAI時代、この5つの領域の理解と学びを具体化する能力がますます必要となってきます。

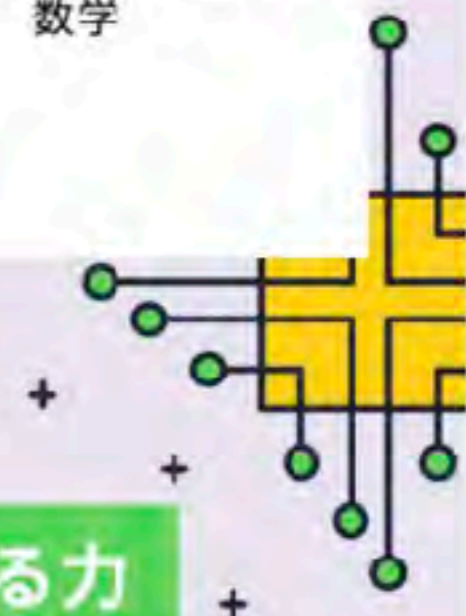


課題を自ら見つける力

物事をさまざまな面から捉え解決する力

新しい価値を創造する力

が身につきます。



+

+

+

トリックアートに挑戦！

